

平成27年度第2回青梅市協働事業市民推進委員会議事録

平成27年7月1日

503会議室

午前9時30分～11時

出席委員10人

1 あいさつ

本日もよろしくお願いたします。

2 報告事項

(1) 平成27年度市民提案協働事業審査結果について

事務局より報告

委員：各団体ともプレゼンテーションが上手で、言いたいことが明確であった、結果に期待していきたい。

委員：いろいろな提案があつて素晴らしかった。湧水については知られていないのでよかった。ぜひがんばって成功させてほしい。

委員：子どもから障がい者まで幅広い事業がありよかった。木育事業は2事業あつたが、アプローチ仕方が違い、実施するグループ実施する方も違うのでいい形で事業が行えるとよい。

委員長：プレゼンテーションに最近は慣れている。パソコンを使用して上手に行っていた。

事務局：出来れば継続して各課で行っている事業としていけるといい。

委員長：新規団体も増えてよかった。

(2) 平成26年度協働事業の評価について

事務局より報告

委員長：今後の活用の進め方について、より協働事業が進む方向で次回意見交換していきま。

事務局：本日、報告することがされていない課の事業や協働事業の認識がないものもあるので、協働事業のものに事務局で働きかけをしていく。

委員：市民側の評価があるので、協働として意識していると思う。協働事業というものには、担当課から声をかけたほうがいい。委員の中でも、これはと思う事業があれば言っていたほうがいい。

委員長：協働による効果の意見の中に「協働の負担を軽減するような仕組みが必要」との意見があり、おもしろいパターンであった。

委員：評価シートの事業形態はどのような形態があるのか。

事務局：政策立案・事業企画、事業共催、事業協力、事業委託の4形態ある。

委員：形態により、協働の度合いが違う。その他評価シートに選択肢があるので、全体像を示してほしい。

事務局：次回、選択肢がわかる評価シートを表示します。

委員：評価の一覧表がほしい。

事務局：評価も大事だが、その他も見ていただきたい。工夫はしたが検討していきたい。

委員：評価シートの中での言葉も大事である。

委員：評価はおおむね3、4、5だが、1、2の評価について歩み寄りがあったのか。

事務局：原則、行っていただいているはずである。

事務局：庁内の市民協働事業推進会議にも評価シートは報告したい。

委員：長淵市民センターまつりは2がついているので、話合いをして評価をしたほうがいい。

委員：巣箱コンクールは行っていないのか。

事務局：一覧にはないので、事業を行っているかどうか確認を試みる。

事務局：追加の評価シートは後日郵送します。

3 協議事項

(1) 視察研修について

事務局より報告

委員長：市民活動を支援するシステムをもっている行政に行ってみたい気がする。

委員：三鷹はいいと思う。武蔵野市は協働に関して行政も入って、プログラムを組んで行っている。

事務局：国分寺はどうか。

委員：行政が直接運営している市民活動センターと社会福祉協議会が運営しているボランティアセンターがある。小平市も行政が一

緒になって協働を進めている。

委員長：青梅市の人口と同じ規模がいいのでは。

事務局：詳細は委員長と相談していくので、委員長一任とさせていただきます。

(2) その他

委員：平成27年度市民提案協働事業におそきの学校と地域を考える会はないのか。

事務局：事業そのものはあるが、市民提案協働事業の補助金を使用せず住宅課と行っている。

委員：新任職員の協働研修の講師を担当した。アンケートの感想の中に入庁前から協働に興味があったという感想があり、協働に関心があることを感じた。このような研修を毎年継続していくといい。また、市民の方と行政の交流があればいい。難しいところもあるが、新任職員との研修、実際の活動の場に一緒に見学をするというのも考えられる。

事務局：まずは視察研修の場で意見交換などの交流をはかることができればいいのではないか。

委員：委員会に参加する中でさまざまな協働事業があることを感じている。NPO法人はつながりがあるが、その他の方のつながりがないのでは。

委員：協働事業一覧を後程、見させていただきたい。

事務局：次回の委員会の日程は、視察研修の日とさせていただきたい。

委員：庁内でも意識改革されているのを感じた。視察研修で意見交換していきたい。